

HOPPIE主催 さっぽろ連携中枢都市圏事業

札幌ALSOプロバイダーコース2022

Sapporo HOPPIE ALSO providers' course

ALSO
Japan

ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、発展・維持するための教育コースです。1991年に考案され、1993年に米国家産科学会 (AAFP) によって認可され、現在、全米のほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務付けられています。また、ALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しています。日本では2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家産科学会 (AAFP) から日本でのALSOセミナー運営権を取得し、2008年よりプロバイダーコース、インストラクターコースを開催しており、2021年6月までに国内開催数は400回を越え10996名がプロバイダーコースを取得されています。

ALSOコースは、シラバス(教科書)を用いたレクチャー、実地訓練のためのマネキンとシミュレーターを使用したワークショップ、コース終了時に行われる筆記試験、マネキンによる実技試験(メガデリバリー)から構成されています。ALSOコースの内容は補助経膈分娩、肩甲難産、分娩後異常出血、妊婦蘇生など様々な状況における産科救急の対処法を中心としていますが、出産前のリスク評価、妊娠初期・中期・後期の性器出血、妊娠合併症、出産危機における両親のサポートなど、マタニティケアに必要な要素がすべて含まれています。プロバイダーコースを完了し、試験に合格すれば3年間有効の認証を受ける事が出来ます。

新型コロナウイルスの対応について

新型コロナウイルスに対する感染予防について、換気、密集を避けるなどの対策を行います。また講義間の手洗い・手指や物品の消毒の対応を行います。但し今後の感染拡大状況により、緊急事態宣言発令などの場合、コースの延期または中止とさせていただきます。ご了承ください。

受講料の振り込み以降は教育サイトにアクセスが出来るようになり、自己学習が出来ます。

各種情報の取得が可能となりますが、開催1ヶ月前を切った段階でやむを得ず、コースの中止が決定した場合には、振り込まれた受講料を返金できません(ALSO/BLSOの本部であるOPPICの規定により)。開催の可否については開催1ヶ月前に一次判断をし、受講される皆様の不利益とならないよう配慮していきたいと考えております。皆様からのご理解・ご協力を賜りながらコースを開催させていただきますので、宜しくお願いいたします。

主 催：北海道周産期医療救急支援の会(HOPPIE) 共 催：札幌市

日 程：e-ラーニング講習(登録後から受講可能、12コマ視聴後テストあり)

on ZOOM 2022年 1月22日(土)、会場演習 1月23日(日)

会 場：札幌ラーニングスタジオ 札幌市北区北14条西2丁目1-6 札幌CS 3F

定 員：6名 一般公募なし(他コース延期分の受講生を優先するため)

受講料：30,000円 ・1/23(日)は受講者全員にお弁当をご用意します